



人間の顔がみんなちがうのはなぜ

人間は人間の顔をしている

人間の顔は、一人ひとりの顔が、みんなちがっているようですが、じつは、大きく人間の顔を見ても、顔についている目、耳、鼻、口など、どの人にも、ほとんど同じものが、ほとんど、同じところについています。ですから、生物学的に見れば、人間の顔や体は、どの人も、ほとんど変わらないということが出来るのです。しかし、それでも人間の顔がみんなちがうのは、それぞれの人の顔の形や、顔についている目、耳、鼻、口などの大きさや、ついていところが、ほんの少しちがっているからで、同じ人間どうしでは、いろいろな、細かいちがいがあるため、そのちがいがわかるのです。

一人ひとりの人間に、ちがいがあるのは

一人ひとりの人間に、細かなちがいができているのは、細胞の中にある、遺伝子が原因です。遺伝子は、親の顔つきや体つきなどの特徴を、子どもに伝えるための、設計図のようなはたらきをするものです。人間の顔がみんなちがうのは、同じ遺伝子をもった人がいないからです。そして、親子や兄弟の顔が似ているのは、親から子へ遺伝子が伝えられるからで、まったく同じではないにしろ、似たような遺伝子をもっているからなのです。

(監修・保志 宏)

